

オスプレイ墜落！ 住民の不安ますます拡大！

日本時間5月18日、米ハワイ州オアフ島で、MV22オスプレイが墜落し22人が死傷しました。

この機種は、海兵隊所有で、沖縄普天間飛行場に配備されている機種と同種です。横田基地に配備が予定されている機種は、海軍仕様のCV22です。事故率はCVはMVの約3倍とされています。今回墜落したのは、事故率のリスクが低い機種です。この事故により、基地周辺の住民の不安はつものるばかりです。

日本の航空法では、住宅密集地では300m、その他の場所では150m以下で飛行してはいけない、また「回転翼航空機は、全発動機が不作為である状態で、自動回転飛行により安全に進入し着陸することができるものでなければならない」などの規定があります。しかし、日米安保条約に基づき米軍特権を保障している日米地位協定の下では、これは適用外なのです。オスプレイは我が物顔で日本国中を飛行することが可能です。こんな不公平・理不尽なことがあって良いのでしょうか？

政府は国内でオスプレイ墜落事故が発生した場合、どう責任を取ろうとしているのでしょうか？

JR東海労は、日本国中全ての基地へのオスプレイの配備に反対です。



2015年
5月18日
『静岡新聞』

【ロサンゼルス共同】米ハワイ州オアフ島で17日午前11時40分、日本時間18日午前6時40分ごろ、海兵隊の新型輸送機MV22オスプレイが着陸に失敗し炎上、乗っていた隊員22人のうち、1人が死亡、21人が病院に搬送された。ロイター通信が伝えた。搬送された隊員のうち12人の負傷が確認された。

着陸失敗の原因は不明と発表したが、明だが、同型機は米軍安全性をめぐる懸念が普天間飛行場（沖縄県）あらためて高まり、そう官野湾市に配備され、だ。

MV22は物資や人員自衛隊も佐賀空港（佐賀市）への配備を計画の輸送が主な任務で、中。日米両政府は日本普天間飛行場では24機時間12日、空軍仕様の態勢で運用、日本国内CV22オスプレイを来での演習も行われてい軍横田基地（東京都府中）5人が負傷。13年8月

事故が起きたのはオアフ島のベロース空軍基地

【関連記事3面へ】

アフ島南東部のベロース空軍基地。カリフォルニア州に拠点を置く第15海兵遠征部隊が訓練中だった。

オスプレイをめぐるでは、開発段階から死傷事故が相次ぎ、2012年6月にはフロリダ州でCV22が墜落し、5人が負傷。13年8月

海兵隊は14年9月現在、オスプレイを200機以上保有している。

にはネバダ州でMV22が着陸失敗後に出火した。ハワイのテレビはホームページ上で、着陸に失敗したMV22の機体から大量の黒煙が上がり、騒然とする現場周辺の写真を掲載した。

付近のビーチには多数の人がおり、複数の目撃者は、上空で旋回していた3機の飛行機が降下するのを見たが、うちの機だけが浮上、その後黒煙が上がったと話した。

オスプレイ米で着陸失敗

オアフ島 海兵隊1人死亡